

【別紙様式2】【体力向上推進校実施報告書】

研究テーマ	鹿児島県立鹿児島養護学校
「一人一人の体力向上を目指した体力づくり」 ～ヒューマンパワーを生かして～	〒892-0877 鹿児島市吉野1丁目42番1号 TEL 099-243-0114 FAX 099-243-6107

1 実施内容（計画、活動、対象、主な内容等）

- (1) 教科体育による体力向上を目指した授業づくり「教科体育の充実」
教科体育を充実させるために、各学部で授業提供を行い、学部や教育課程を問わずに、授業づくりを行えるようにした。授業づくりのメンバーで、模擬授業を行い、予想質問や児童生徒の動きを確認し、授業者間の共通理解を図れるようにした。
- (2) 運動機会の確保「かようタイム」
各学部のⅡ課程、Ⅲ課程（3）の児童生徒を対象に、発育・発達段階に応じた運動内容を検討し、運動機会の確保のために「かようタイム」を実施した。また、体力テストの結果や体の動きの観察等から、児童生徒に必要な体力要素を確認し、運動種目の設定を行った。
- (3) 運動機会や余暇活動の充実、地域・関係機関との連携「放課後活動や夏季休業中の取組」
児童生徒の障害特性に応じて、肢体不自由部門、知的障害部門の2つに分けて活動を行った。昨年度の課題を踏まえ、さらに実施内容や回数の充実を図った。
- (4) 家庭などの話題づくりや連携、余暇活動の充実「体育科通信の発行」
昨年度から、体育科通信を発行し、学校教育活動の中で行っている体育や体を動かす学習の様子を保護者や学園等に周知できるようにした。今年度は、家庭や学園等で運動等に取り組んでいる記事を募集し、誌面で紹介するコーナーを設けた。

2 実施上で工夫したこと

- (1) 本時の目標設定や学習内容、ルールの系統性等について、様々な視点から話し合えるように、授業づくりに参加する職員のグルーピングを、学部や教育課程を問わず、配置した。
- (2) 「かようタイム」の時間を教育課程に位置付けたことで、毎日の継続した実施につなげることができた。
- (3) 放課後活動等の取組では、各種大会に向けて、卒業生との練習試合や他校との交流試合を設け、生徒が目標を設定しやすいようにした。
- (4) 体育科通信では、各教育課程に在籍する児童生徒が学習している様子を一枚の誌面にまとめ、職員間でも各学部の様子や学習内容、ルールの確認ができるようにした。



3 主な成果

- (1) 児童生徒の変容
昨年度と比べて、授業アンケートや日常の会話から、児童生徒の体育の授業に取り組む意欲が高まってきている。
- (2) 運動習慣や体力テストなど数値的な変容
運動機会の確保ができ、10分間走の記録が伸びてきている。また、放課後活動による運動習慣の確立を図り、全国大会で新記録を樹立する生徒も出てきた。

4 実践の様子（写真，絵図，グラフ等）

			<p>3人の生徒が 全国障害者ス ポーツ大会に 出場。各種目 でメダルを獲 得。</p>
<p>1, 500m 3位（大会新記録）</p>	<p>ソフトボール投げ 2位</p>	<p>200m 3位</p>	
			
<p>小学部：ボールであそぼう</p>	<p>中学部：車椅子サッカー</p>	<p>高等部：バスケットボール</p>	
			
<p>放課後活動（肢体不自由部門）</p>	<p>放課後活動（知的障害部門）</p>	<p>夏季休業中における交流試合</p>	
			
<p>体育科通信の発行</p>	<p>体育科職員による模擬授業</p>	<p>成果と課題についての話し合い</p>	

地域スポーツ人材の活用

	<p>放課後活動で 年9回の指導 を行っていた だき、参加者 2名が全国大 会へ出場。</p>		<p>研究公開にお ける講演会 演題「スポー ツは生きる 力」（参加者： 60人）</p>
-------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------